

かに文化



蟹江町文化協会

令和6年12月1日発行 第62号

鍋蓋新田

…地名のいわれ…

旧地名：尾張国海東郡鍋蓋新田村（江戸時代）鍋蓋新田は、名古屋の兼山屋と一が享保十二（一七二七）年に請負新田として開拓した村です。

地名の由来は定かではありませんが、開発当初が鍋の蓋のようであった新田が昭和四（一九二九）年に日光川樋門工事で田畑を掘って川筋を拡張したので現在のようになってしまったと言われています。

この新田は、低湿地帯で海岸にも程近く、開発当初から村人は、風水害による堤防破壊や塩害に悩まされつつ米を中心とした農業生産に従事していました。記録に残されている災害は、明

治二十九年、大正元年に台風と大雨。昭和三十四（一九五九）年九月伊勢湾台風の暴風と高潮で日光川の濁流で家ごと流され、九名が亡くなるなど、住宅や田畑が大きな被害を受けました。

鍋蓋新田の東堤防の先端から河川の周辺を見渡すと、かつて鍋蓋外新田があった地点とおもわしき堤防が伸びています。現在は、水辺に葦が繁り多くの野鳥が生息しており、絶好の自然観察地点で、新田開発の面影が偲ばれます。

江戸時代の鍋蓋新田の戸数と人口は、寛政四（一七九二）年、戸数七戸、人口五十三人と伝えられています。天保十二（一八四一）年

の字名は、東之割、中之割、宮之割であったが、現在は、鍋蓋新田・南に地番変更となり、戸数一九八戸、人口四三五人と発展しました。

鍋蓋地域の人々は、豊かな農村地帯として先人が育んだ歴史に感謝して、高齢化社会の暮らしに役立つ、共生社会活動を提案しています。

かにえ移動支援「かにあし」は、この地域の移動や外出に困難を抱える人たちにたいし、ボランティアが主体となり話し合い、社会福祉協議会や地域企業などと協働で運行しています。また、蟹江町地域包括支援センター「ちーかに畑」に畑を提供し、指導者として土を耕し、種をまき、育てて収穫することで、高齢者の健康づくりとフレイル予防などに楽しく挑戦しています。



◀ちーかに畑

◀かにあし



文化協会会長
加藤 俊男

今年は、縁起の良い辰年、昇り龍のごとく芸術文化を通じて、活動を活性化したい思いでしたが、能登半島大震災や集中豪雨など、自然災害や事件事故と閉塞感だよう昨今でした。

このような時こそ、文化芸術活動は人の心を癒し、勇気と希望を与えてくれる。欠かすことの出来ないものと思います。蟹江町文化協会は、創立四十九周年を迎え、先輩や会員、行政の支援をえて文化の裾野を広げようと活動してこられましたことに敬意と感謝を申し上げます。

昨今は、文化活動指導者や会員の高齢化と社会ニーズの多様化で会員が減少傾向にあります。このような厳しい中でも、九部門四十三団体が、文化協会主催事業や町民文化祭、生涯学習まちづくり推進町民大会、町民まつりなど町内外で展示や発表などに活躍しています。

また、研修会やかにえ文化の発行、ホームページ掲載など地域社会と文化の絆を深めています。

心に響く芸術文化の魅力、豊かな人生に、町民憲章にある「文化の香り高い町づくり」と生涯学習町づくりを目指します。

文化芸術に興味をお持ちの方など、いつでも入会をお待ちしています。

結びに、関係各位の二層のご指導ご支援をお願いしまして、ご挨拶いたします。



蟹江町長
横江 淳一

かにえ文化第六十二号の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

蟹江町文化協会役員並びに会員の皆様におかれましては、日頃より町政全般にわたりご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝いたします。

さて、本年はパリオリンピック及びパラリンピックが開催され、スポーツの分野で日本人選手が活躍し、大いに盛り上がりを見せました。

また来年には、愛知万博二十周年記念事業の開催が予定されており、ジブリパークをはじめ、歴史・文化・産業など本県の持つ多彩な魅力が国内外へ発信・アピールされていくことと存じます。

蟹江町におきまして、十月一日をもって町制施行百三十五周年を迎えました。歴史と伝統に紡がれてきた「水郷のまち」としてのプレゼンスをより高めていくために、会員の皆様のお力添えのもと、邁進していきたい所存でございます。

これからも、蟹江町文化協会会員の皆様のより一層のご理解とご協力をお願いするとともに、役員並びに会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

舞踊部門

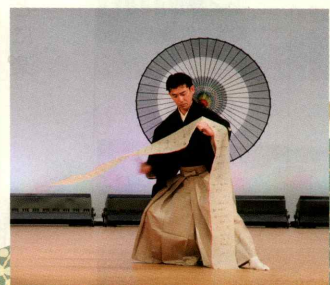
今年度は、五月二十六日(日)に蟹江中央公民館にて第十九回「蟹江おどり」を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の脅威は消えていませんが、中止や延期の心配をせずに舞台公演ができるのは本当にありがたい事です。

当日には、多くのお客様にご来場頂き、たくさん拍手を賜りました。舞台という、日頃のお稽古の成果を発表する場所ではお客様の皆様からの温かいご声援が何よりの喜びです。

毎年お出かけ下さる常連さまはもちろん、初めてご覧頂くお客さまにも、多彩なジャンル全ての演目をお楽しみ頂けるよう、上演時間をコンパクトにまとめ、演目解説をアナウンスするなど観やすい舞台づくりを心掛けております。

来年は第二十回公演を迎えます。五月十一日(日)を予定しておりますので、どうぞご期待くださいませ。



技術や芸を磨き、人とひととの出会いや生涯学習などの場として、人生を楽しみましょう。

美術部門

書・写真・絵画
文字アート・陶芸
フラワーアレンジメント

文学歴史部門

俳句

茶華道部門

茶華道

蟹江町文化協会 会員募集

団体加入は、蟹江町在住・在勤・在学など主体に5名以上、
個人入会ご希望の方は、
文化協会加入団体一覧表にある、
各種団体代表者または、
蟹江町教育委員会生涯学習課
(☎95-1111代) まで

技芸部門

手芸・機織

囲碁部門

囲碁

洋楽部門

吹奏楽・ピアノ
コーラス
ゴスペル・オカリナ
音楽アンサンブル

邦楽部門

箏曲・大正琴
太鼓

詩吟部門

詩吟

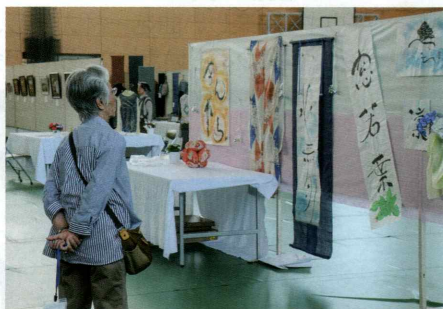
舞踊部門

日本舞踊・ダンス
太極拳・フラダンス
新舞踊・ヨガ



第四十回総合美術展を、五月二十五日(土)二十六日(日)蟹江町体育館で書道、写真、水彩画、文字アート、陶芸、フラワーアレンジメント、俳句、手芸、機織、津島東高校写真部の作品展を行い、呈茶席では、愛知大学留学生との交流をしました。
また、巨大大震災に備えた展示と災害対策講座を開催しました。

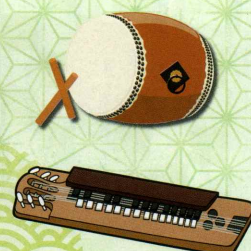
第四十回 総合美術展



第四十三回 邦楽の集い

五月十二日(日)蟹江中央公民館にて、文化協会邦楽部門八団体参加による「第四十三回邦楽の集い」を開催しました。

今年はゲストに岡田香真流大正琴家元、
香真瑠聖祥先生を九州佐賀県よりお迎え
し華を添えていただきました。回を重ね
るごとに会員皆、スキルアップし、「継続は
力なり」を実感いたしました。



第44回 蟹江音楽祭 ～洋楽部門～

6月23日(日)午後1時半から蟹江中央公民館で「第44回蟹江音楽祭」を開催しました。出演は5団体でした。始めに蟹江アンサンブルソサエティが管楽器の素敵なグループ演奏を披露しました。続いて風の会・コスモス会がピアノ連弾と独奏で若さ溢れるエネルギッシュな演奏で熱演しました。ゴスペルグループのティンカーベルは優雅に美しいハーモニーを会場内に届けました。最後に蟹江吹奏楽団が「オーシャンゼリゼ」「東京ブギウギ」等楽しい曲を一杯力演し、幕を閉じました。当日は家族やお友達の皆さん大勢の方に来ていただきました。有難うございました。新しい会員さんのご入会大歓迎です!



第四十四回 詩吟と剣詩舞発表会

七月二十八日(日)午後一時三十分から「第四十四回詩吟と剣詩舞発表会」を蟹江中央公民館にて開催しました。

連日の猛暑の時期でしたが、会員一同暑さに負けることなく、一生懸命練習に励んできました。

第一部の独吟では、各自得意の曲を吟じたり詩舞剣舞を披露し、そして第二部の構成吟はテーマを「愛知の武将達」と題し、愛知県が生んだ三英傑、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の生涯を物語にして舞台を盛り上げました。

また、県立稲沢緑風館高校の生徒による詩舞剣舞も勇壮且つ華やかで楽しませてくれました。今後も詩吟を通じて、仲間同士団結して明るく楽しい「詩吟と剣詩舞発表会」を続けていきたいと思っております。

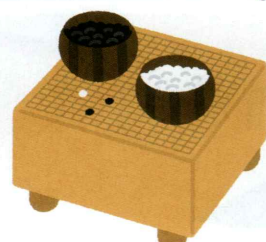


囲碁便り

私たち蟹江囲碁同好会は、蟹江中央公民館和室にて、金曜日、日曜日に、月に五回から六回、午後一時から五時まで月例会で対局して技能を磨き、春季・秋季囲碁大会を開催しています。

最近では、高齢化や超高温化などで体調不良者が多く、参加者が減少しています。囲碁は集中力アップで感性を豊かにし、健康管理や認知症予防になります。

マナーを守り人々との絆を育みながら楽しむもので、興味のある方は、公民館和室の月例会を訪ねてください。お待ちしております。



文協だより

新会 ダンスフィットネス 「AZ(アズ)サークル」

南米発のダンスフィットネスです。世界中の様々なジャンルの曲に合わせて楽しく踊ります。

インストラクターの振付に合わせて、皆で一緒に踊りますので、どなたでも参加して頂けます。

楽しく踊りながら健康づくりをしましょう。



活動報告 詩吟部門「愛誠吟風会」

昨年の十二月八日に東京九段の靖国神社で詩吟奉納奉告祭に出席しました。

国家のために尊い命を捧げられた御霊に感謝し、日本の平和と安寧を願って詩吟を奉納して頂きました。



文化交流会

七月七日(日)蟹江中央公民館にて「生涯学習まちづくり推進町民大会」が開催されました。

第二部で、日本舞踊西川流紀和会の演舞と、沖縄県読谷村上地自治会が、琉球空手・古武道を披露しました。



第五十七回 蟹江町文化祭

十一月二日(土)・三日(日)展示の部が蟹江町体育館で、芸能の部が蟹江中央公民館で開催されました。日ごろ丹精込めた作品展示や、練習の成果を舞台で発表しました。

呈茶席は「お茶を楽しむ会」と愛知大学留学生の国際文化交流を図りました。多くの町民が鑑賞され芸術文化に親しみ、町づくりと文化協会加入促進をお願いしました。



蟹江町文化協会役員

名 誉 顧 問	横 江 淳一
"	水 野 智見
"	服 部 英生
相 談 役	藤 田 昭子
"	佐 藤 篤松
会 長	加 藤 俊男
副 会 長	服 部 大子
"	伊 藤 吟雪
常任理事(邦楽)	伊 藤 玲子
" (邦楽)	松 岡 隅夫
" (詩吟)	大 河 内 正 博
理 事(技 芸)	鈴 木 恵子
" (洋 楽)	志 治 市義
" (囲 碁)	成 瀬 光彦
" (舞 踊)	花 柳 貴 人 生
監 事(文学歴史)	山 田 豊 志
" (美 術)	高 阪 直 美

十一月六日(水)日本の童話作家新美南吉記念館と野間大坊大御堂寺を見学しました。

午前は、新美南吉記念館。知多半島を舞台に、庶民の生き様や子どもの生活、身近な動物たちを描き、心の通い合いや美しい生き方などを、感性豊かに表現しました。美しい文章、巧みな心理描写、ユーモアに彩られ、彼の死から七十五年以上経った現在でも多くの読者に愛されています。童話、小説、童謡など多岐にわたり、南吉の生涯に思いを馳せました。

昼食は、知多の老舗「まるは食堂」で海鮮料理をいただきました。

午後は、野間大坊参拝。平安時代末期、平治の乱で、平清盛に敗れた源義朝がこの「大御堂寺」のある野間へ家臣を頼ってやってきましたが、家臣の謀反にあい「我に木太刀の一本でもあればむざむざ討たれはせん」と無念の最期を遂げた絵解を拝聴しました。

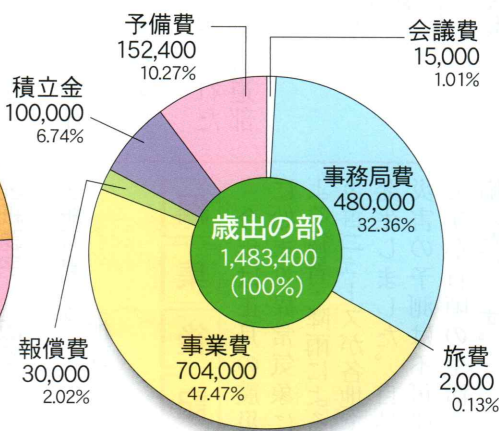
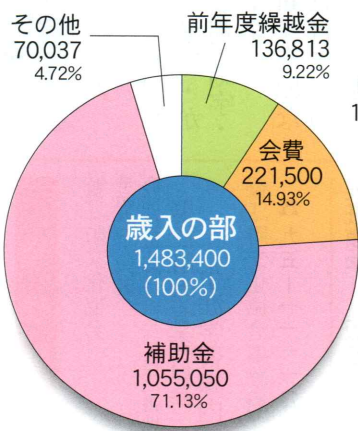
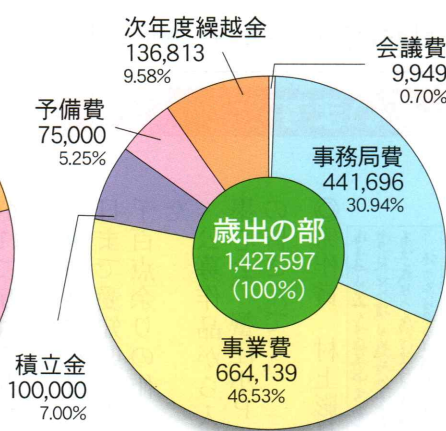
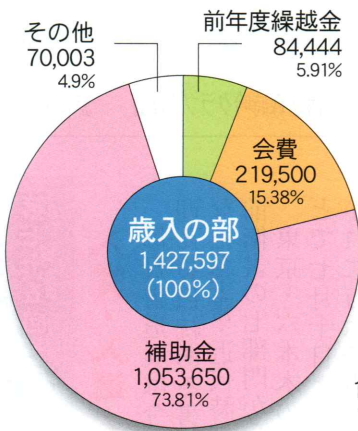


義朝公のため、木太刀が奉納されているお墓や、御首を洗ったとされる「血の池」等、そのゆかりが境内に多数ありました。

現在では、尾張地方屈指の護摩祈禱の寺として信仰を集めています。天候にも恵まれ、歴史や文化を学んだ研修でした。

文化協会研修

新美南吉記念館と野間大坊研修



令和六年度 文化協会 総会報告

令和六年四月二十日(土)総会において文化協会加入団体代表者が出席し、加藤会長挨拶のあと、令和五年度事業報告及び決算が報告され、監事による監査報告、令和六年度事業計画並び予算案について協議され、議決されました。



令和五年度 文化協会決算

令和六年度 文化協会予算

文化協会加入団体一覧表

9部門 43団体

部門	種目	団体名	代表者氏名	電話番号	部門	種目	団体名	代表者氏名	電話番号	部門	種目	団体名	代表者氏名	電話番号
美術	書	墨心会	伊藤 吟雪	95-0214	洋楽	吹奏楽	蟹江吹奏楽団	吉田 豊	95-8387	邦楽	太鼓	西大海用神楽太鼓保存会	上別府彦利	95-1177
	書	蟹小PTA・OB書道部	花井加代子	95-5382		ピアノ	コスモス会	服部 大子	95-1476		太鼓	御諏訪太鼓保存会 門下高阪道場	高阪 恵美	95-2976
	写真	かにえ写真クラブ	加藤 俊男	95-3573		ピアノ	風の会	岡田 節子	95-8424		日本舞踊	花柳貴人生 日本舞踊教室	花柳貴人生	090-9936-2759
	絵画	水彩画 彩	川添 隆志	95-9536		コーラス	ベルクロッシュ蟹江	岡田 豊子	96-2829		日本舞踊	西川流 紀和会	西川 文紀	95-5258
	文字アート	文字アート ひなび	中尾 静泉	090-1294-2852		コーラス	アン・シャロット	中尾 静泉	090-1294-2852		新舞踊	日舞 絆会	鈴木 朝子	69-7778
	陶芸	蟹江陶芸の会	糸野 京子	052-442-9275		ゴスペル	ゴスペル ティンカーベル	中尾 静泉	090-1294-2852		新舞踊	ひなぎくの会	吉田 洋子	95-4625
	陶芸	陶工房 かにの会	高阪 直美	95-2731	邦楽	オカリナ	オカリナグループそよかぜ	工藤 満子	95-4430	舞踊	ダンス	ヒコロリズムダンス教室 (研究生クラス)	伴 弘子	052-432-5868
芸術	陶芸	すずらん陶芸の会	鈴木ツタエ	95-1888		音楽 アンサンブル	蟹江アンサンブルサティ	志治 市義	95-0138		ダンス	ヒコロリズムダンス教室 (ジュニアクラス)	伴 弘子	052-432-5868
	フラワーアレンジメント	フラワーベル	増渕 佳代	96-6676		箏曲	伊藤玲子社中	伊藤 玲子	95-0817		太極拳	蟹江太極拳研究会	久野由美子	090-3586-3494
文学歴史	俳句	蟹江濃美句会	山田 豊志	55-9711		大正琴	岡田香真流大正琴 琴吉会 あやめ教室	天木 和子	95-7701		フラダンス	ハイビスカス	田中 廣美	96-2758
	茶華道	茶華道を楽しむ会	佐藤 章	95-2432		大正琴	宗家岡田流大正琴 ハマナス会	岡田 孝江	95-1747		ヨガ教室	蟹江健康ヨガ	奥田たみの	95-5083
技芸	手芸	カサブランカ	鈴木 恵子	95-0718		大正琴	近代大正琴 琴衛会	二宮 峰子	080-6904-9647		ダンス フィットネス	AZ(アズ)サークル	鶴飼 明	090-1987-7038
	機織	機織染色学習会	山田 要人	95-1919	楽	太鼓	須成鼓笛保存会	山田 清美	090-3256-6775	詩吟	詩吟	愛誠吟風会今教場	大河内正博	95-4167
囲碁	囲碁	蟹江町囲碁同好会	成瀬 光彦	96-3730		太鼓	海東流神楽太鼓保存会	佐藤 康弘	96-6120		詩吟	北辰神明流修業会蟹江支部	水野 京門	95-0669
											詩吟	西之森詩吟クラブ	澤野 宏	95-9711

皆さんの入会をお待ちしています

第七十五回 毎日書道展

入賞・入選 おめでとう

毎日書道展は今回で七十五回を迎える伝統ある書道展で漢字・かな・大字書・近代詩文書・篆刻・刻字・前衛書の七部門からなります。

東京・六本木の国立新美術館などで七月十日より八月五日まで開かれ二万六千点を超える出品がありました。

東海展は八月二十日より二十五日まで愛知県美術館ギャラリーで千百点余りの作品が展示されました。

公募作品から入賞・入選された墨心会、蟹江小PTA・OB書道部の皆さんです。

◎秀作賞 村上影月

佳作賞 兼子圭葉

◎佳作賞 杉戸竹映

◎佳作賞 兼子圭葉

◎会友入選(無監査)
長田裕華、太田祥風

◎公募入選
成田美楓、中山恵仙、朝熊松苑◎審査員
伊藤吟雪

発行者

蟹江町文化協会

〒四九七-〇五〇

海部郡蟹江町学戸三丁目二番地

蟹江町教育委員会

生涯学習課内

蟹江町文化協会事務局

☎九五一一二二(代)

表紙題字 飯田 棲山

表紙写真・文

加藤 俊男

編集後記

今年は正月の震災に始まり異常気象による猛暑・降雨による災害ニュースが各地で発生しました。自然災害の予測は不可能ですが日頃の生活で備えたいです。

普通の生活ができる幸せに感謝して仲間と元気に楽しく過ごし、皆さんの文化活動を継続して次に繋げてください。継続は今ある我々の仕事だと思います。

会報発行にあたり会員皆様の協力に感謝します。

文化活動情報をお持ちの方は本会までお寄せください。